

第44回糖尿病週間に際して

医療法人社団 弘健会 菅原医院院長
 昭和55年 順天堂大学医学部卒業
 順天堂医院にて診療に従事
 平成5年から現職。
 日本糖尿病協会理事
 東京都支部長（東京都糖尿病協会会長）
 日本臨床内科医会常任理事、東京内科医会副会長
 日本糖尿病療養指導士認定機構委員
 東京都糖尿病対策推進会議幹事
 日本糖尿病対策推進会議ワーキンググループ委員（日本医師会）
 糖尿病週間 東京2000実行委員長
 2001年 日本臨床内科医会学会賞受賞
 2006年 日本臨床内科医会学会実行委員長
 2008年 第48回 日本糖尿病協会総会・年次集会会長
 日本内科学会評議員・日本糖尿病学会学術評議員・日本リウマチ学会評議員
 著書：よくわかるメタボリックシンドローム脱出法（講談社）ほか。



(社)日本糖尿病協会
 東京都支部支部長
 (東京都糖尿病協会会長)

菅原 正弘

会場みなさん、こんにちは、菅原です。東京都糖尿病協会では、日本糖尿病協会の支部としての活動以外に独自の活動を展開しています。

糖尿病週間に開催される、この九段会館での講演会は、当会が行っている多くの行事の中で、最も歴史があり、中心的な役割を担っています。友の会や患者さんの表彰も、この時に行っています。交通の便が良い読売ホールに会場を移すという案もありましたが、多くの方は懐かしい、この会場での開催を望まれました。これからも、この重厚な雰囲気の中で皆様のお役に立つ有意義な情報を発信していきます。

本年1月に、念願のホームページが立ち上がりました。『東京都糖尿病協会』で検索すると初めにできます。当会が主催する講演会、歩く会等の日程は決まり次第掲載されています。

また、9月には会報が創刊されました。ここには、ブロック糖尿病教室や歩く会の青空教室等の内容が、写真と共に掲載されます。友の会の紹介などのページもあります。年2回の発刊を目指し、編集委員会のメンバーが全力を挙げて取り組んでいます。この会報が、会員や友の会同志の輪を拡げる媒体になることを期待したいと思います。ホームページでも閲覧することができます。

都内を5ブロックに分け開催しているブロック糖尿病教室ですが、本年度から城西地区が独立し6ブロックになります。東京女子医科大学、国立国際医療センター、慶応大学、東京医科大学など新宿地区の大病院にも参画して頂き、さらに充実した教室が開催できることになるでしょう。

さて、話を戻して今年の糖尿病週間ですが、加藤光敏実行委員長の基、充実した企画が展開されます。講演会は今井潤教授の血圧に関する基調講演と心

臓を糖尿病の脅威から守るためのパネルディスカッションが予定されています。昨年、日本糖尿病協会歯科医師登録医制度が発足し、全国で約5000人の糖尿病に詳しい歯科医師登録医が誕生しました。歯周病と糖尿病はお互いに密接に関連していますが、今回、歯科医の先生の御講演もあります。期待頂きたいと思います。

従来、三越デパートで行っていた医療相談ですが、伊勢丹との合併に伴い、本年度から会場が使用できなくなりました。慣れ親しんできた場所ですので、誠に残念ですが、長期間に亘り、ご協力頂きました三越には心から御礼申し上げます。

今年は小田急デパートで、11月22(土)～24(祝)の開催が決まりました。今回は、スペースは手狭ですが、交通の便がよい新宿での開催は、以前から望まれていましたので、これを機にさらに実りあるものにしていきたいと考えています。健康関連グッズが揃っているフロアですので、是非お立ち寄り頂ければ幸いです。11月14日の世界糖尿病デーには東京タワーに加え、今年は都庁もブルーにライトアップされます。メディアでも紹介されることと思います。

東京都支部には現在、約7000人の会員がいます。まだ、入会されておられない方は、この機会に入会されますことをお勧めしたいと思います。同じ病気を持った友の存在は、きっと療養生活を楽しみ、充実したものに変わってくれることでしょう。

それでは、最後まで、ごゆっくりご聴講下さい。